

科目ナンバー	LIN-1-015-sn			科目名	国語表現（心理）		
教員名	青木 祐子			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本授業では、これからの大学生活や社会生活に必要な日本語表現(主に「書くこと」)を学び、考えます。「書くこと」に焦点を当てた日本語表現のスキルアップを目指します。これからの国際社会に生きていくためには、誰に対しても、正確で快いことばの使い手(表現者)でなければなりません。理想的なことばの使い手(表現者)となるためには、相手のことを考えた表現、相手を思いやる表現を常に心がけることが何よりも大切です。						
到達目標	本授業の目標の第一は、受講者一人一人が書くことの基本を習得し、自分なりに表現する「コツ」を会得することです。日常生活において、自分の伝えたい情報や思いを、より正確により効率よく、相手に快く伝えるためにはどのように書けばよいか、受講者全員で探ります。目標の第二は、大学での学習・研究生活に必要な日本語基本スキルの習得です。レポートや論文の作成、またその準備としての文章資料の要約の方法など基本的な技術を学びます。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<p><教授法> グループでの演習的学習と講義的な学習を1:2の割合で行います。 グループでの演習的学習は、受講者を数人のグループに分け、それぞれのグループに課題を出します。各グループは課題の検討を通して、よりよいコミュニケーションとしての日本語の書き方を考え、受講者全員の前で発表します。発表後、受講者全員で課題と発表について討議を行います。 講義的な学習は大学生のための日本語表現のトレーニングとして、文章表現の基本や文章の要約の仕方、レポートや論文の書き方などを学習をします。こちらは一斉・個別学習で行います。</p> <p><課題のフィードバック方法> グループでの演習的学習では、発表後に、教員がコメント、助言、指導を行います。 講義的な学習では、授業中での指導に加え、学習確認シートや課題の返却を通して適宜指導を行います。</p>						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	心理・人間文化コースの学生 1年生優先で、2年生までが受講可能です。 第1回の授業は必ず出席すること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	<p><アセスメントポリシー> 授業への取り組みについては、「共生のための知識」「共生のための態度」「伝え合う力」「協働する力」として、総合的に評価します。 レポートについては、「分析し、思考する力」「構想し、実行する力」「実践的スキル」として、総合的に評価します。</p> <p><評価方法> 授業への取り組み(平常点、発表、意見交換や討論、学習確認シート)(60%) レポート(提出を求められるレポート、全授業後に提出するレポート)(40%) 受講期間中の「日本語検定」2級合格者は「優(A)」以上、3級合格者は「良(B)」以上(いずれも無条件)。 受講期間中に新聞に投書が採用された者には、成績に10点加点する。</p>						
教材	授業者が用意します。						
参考図書	野田尚史・森口稔2003『日本語を書くトレーニング』(ひつじ書房)野田春美ほか2016『グループワークで日本語表現力アップ』(ひつじ書房)学習技術研究会編2002『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』(くろしお出版)三上直之2005『「超」読解力』(講談社+α新書)深尾紀子2007『就職活動のための文章表現力基本テキスト』(日本能率協会マネジメントセンター)						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス(授業の概要)、お願いケイタイメールの書き方						
授業外学修内容	自分自身が今までに書いたケイタイメールを見直し、問題点や修正すべき点を挙げ、書き直してみよう。					時間数	1

2週目			
授業学修内容	文章表現の基本(原稿用紙の使い方、句読点の打ち方、記号の使い方、文体の違い、話しことばと書きことばの違い、呼応関係、わかりやすい文章の書き方、読ませる文章の書き方)		
授業外学修内容	原稿用紙の使い方、句読点の打ち方、記号の使い方、文体の違い、話しことばと書きことばの違い、呼応関係、わかりやすい文章の書き方、読ませる文章の書き方について、高校の教科書や国語便覧などを見返して、復習しよう。	時間数	1
3週目			
授業学修内容	＜演習＞読みやす文の書き方		
授業外学修内容	身近にある新聞・雑誌・図書の文章を読み、読みやす文と読みにくい文とを探しだし、どこが違うのかを考えてみよう。	時間数	1
4週目			
授業学修内容	＜演習＞お知らせ文書の書き方		
授業外学修内容	自分が受け取った文書やメールを見返し、多数の人に一齐に発信する文書を書くときには、どのようなことに気を付かなければならないか考えよう。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	短い文章の書き方(投稿)		
授業外学修内容	新聞の投書欄を読み、未時間文章で自分の伝えたいことを書くためにはどのような書き方をすればよい考えよう。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	文章の読み方(マーキング)		
授業外学修内容	重要と思われる箇所に線を引ながら新書(説明的な文章)を1冊読んでみよう。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	＜演習＞企画書の書き方		
授業外学修内容	企画書とはどのようなものなのか、インターネットで調べてみよう。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	要約の仕方PC使用		
授業外学修内容	第6回に読んだ新書(説明的な文章)を要約してみよう。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	＜演習＞アンケート用紙の書き方		
授業外学修内容	アンケート用紙を作ってみよう。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	レポート・論文の書き方(1)レポート制作の過程*課題レポートテーマの出題		
授業外学修内容	自分のレポートのテーマについて考えよう。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	＜演習＞レポート・論文の書き方(2)「はじめに」の書き方(教科書14)		
授業外学修内容	自分のレポートのテーマに沿った図書を1冊(1冊目)読もう。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	レポート・論文の書き方(3)形式、体裁、参考文献の書き方PC使用		
授業外学修内容	自分のレポートのテーマに沿った図書を1冊(2冊目)読もう。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	＜演習＞レポート・論文の書き方(4)「本文」の書き方(教科書14)		
授業外学修内容	レポートを書こう。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	書類の書き方		

授業外学修内容	自己アピールと履歴書を書いてみよう。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	手紙の書き方、まとめ*レポートの提出		
授業外学修内容	レポートを推敲しよう。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		21	
その他に必要な自習時間		69	

Number	LIN-1-015-sn	Subject	Japanese Expression		
Name	青木 祐子 (Aoki Yuko)	Year and semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In this course, we will think about and learn Japanese expressions (particularly writing) that will be necessary in both university and society. In order to live in the international society of the future, we must be able to accurately and pleasantly express ourselves to anyone. In order to express ourselves ideally, it is most important to always use expressions that think about and are considerate of the person you are talking to.</p>				